

会員の皆様方と親交を深めさせて頂きながら、
各クラブから「元気」を頂きます

国際ロータリー第 2530 地区

2022-23 年度 中央分区ガバナー補佐

初瀬 照夫（郡山 R C）

ロータリーは品格であるといわれます。

「謙虚」と「寛容」です。「寛容」とは様々な価値観を受け入れる力、思い通りにいかないことに我慢する耐力であると思います。「ロータリーの目的」にありますように「奉仕の理念」とは「思いやり」や「優しさ」であり職業を通してロータリアンが自ら身につけてゆくものです。ロータリー-のことは長くやっていればそのうち解るといわれています。例会を通じて切磋琢磨し身につけてゆくものです。私はロータリーはある意味で「お米研ぎ」だと思っております。お米は私達であり、かき混ぜるのは私達の目標、模範、象徴である会長です。また、クラブの先輩であり、クラブのルールです。かき混ぜられながら、私たちは擦れ合っ
てきれいな水になってゆきます。

ロータリーを咀嚼して自分の言葉でロータリーを語れる人、皆が良くなって初めて自分が良くなる。自分は後なんだという痛みが判る感性をお持ちの方、「奉仕の理念」を理解し、世の中のためにその精神を広めようという強力な意志をお持ちの方。それが立派な、真のロータリアンだと思いますが、いかがでしょうか？今年1年間よろしくお願い申し上げます。